

第35回 日本女子学生選抜バスケットボール大会(東海学生選抜)3位「優秀選手賞」受賞とインカレ出場!

今回、東海ブロックの代表メンバーとして選出をしていただき、このような賞を受賞することができたこと、嬉しく思っています。全国の高いレベルの選手と戦えたことは、とてもいい刺激になり、自信にもつながりました。チーム目標である「インカレ出場」も果たすことができたので、これからも日々精進したいと思います。  
法学部3年 大橋瑠菜さん  
岐阜女子高等学校(岐阜県)出身 ●女子バスケットボール部



第16回 ザ・地産地消 作りおきおかず部門 家の光料理コンテスト「佳作」

「MISOミートローフ」は八丁味噌の風味を生かしつつ、食べやすさと栄養のバランスを考えることに苦労しましたが、できあがりの断面の彩りが鮮やかになるように工夫して仕上げました。試作できる時間が少ない中での出品作で、「佳作」をいただくことができ、とても嬉しかったです。今後もこのような機会があれば積極的に挑戦していきたいと思っています。  
人間生活科学部 管理栄養学科1年  
松島玲実さん(左) 水沢第一高等学校(岩手県)出身  
鈴木椋子さん(右) 名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



**MISO(ミン)ミートローフ!**  
食材と分量(4人分)  
鶏ひき肉…500g みりん…大さじ1  
茶葉…大さじ2 胡椒…少々  
もち麦…大さじ6 卵…3コ  
パン粉…大さじ3 オクラ…8本  
牛乳…大さじ3 ミネソタ(アイコ)…8コ  
八丁味噌…大さじ3 油揚げ…大3枚  
※赤字は地元食材です。



愛知県歯科医師会 高齢者向け部門 第8回 もっと噛んで 歯ッピー レシピコンテスト「銀賞」

高齢者が対象ということで、身近な存在である祖母の好みを参考にレシピを考案しました。白米ではなく玄米を使用し、具材を細かくし過ぎないようにするなど、食感にアクセントを加えて「噛むこと」を楽しんでもらえるような工夫を盛り込みました。今回の受賞を励みに、食べてくださる方々の立場で献立を考えられる管理栄養士になることが目標です。  
人間生活科学部 管理栄養学科3年  
額綱理紗さん  
岐阜県立土岐商業高等学校出身



三色いなり寿司!



MOS世界学生大会2018 Excel 2013で「入賞」

この度の入賞を、たいへん光栄に思います。しかし、嬉しい反面「もっと早い段階から取り組んでいれば、さらに高い順位を狙うこともできたのではないか」という悔いも残りました。今後は今回の入賞を糧にして、さまざまな資格取得に挑戦していこうと思います。  
経済学部3年 毛利友祐さん



あいち食育サポート企業団 「朝ごはんを食べよう!」 ランチョンマットデザイン「ユニー賞」

限られた時間で作成した作品が「入賞」し正直驚きましたが、認めていただけたことに大きな喜びを感じています。「ぬり絵なら、子どもたちに『朝食をとることの大切さ』を伝えられるのでは」と、今回のアイデアにつながりました。将来は食事の大切さをより多くの人に伝える仕事に就くため、管理栄養士国家資格はもちろん、公務員を目指して頑張っています。  
人間生活科学部 管理栄養学科3年  
澤口彩実さん  
愛知県立春日井商業高等学校出身  
ランチョンマットのデザインはこちらから▶



2019年度入試日程 ※選考方法については、「2019年度入試要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部(教育保育学科・管理栄養学科)

入試区分	出願期間*	試験日	合格発表日
一般入試	前期A日程	2019年1月7日(月) 0:00 ~ 1月16日(水) 17:00	1月24日(木)・25日(金)
	前期B日程	2019年1月7日(月) 0:00 ~ 1月25日(金) 17:00	2月4日(月)

※その他、AO入試(VI・VII期)、一般入試(中期・後期)、センター利用入試(II・III)も実施します。\*入学検定料支払期限は、出願登録翌日の23:59まで。出願登録期間最終日の振込最終時間は、16:00までです。ご注意ください。

■大学院 法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)、会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程) 人間生活科学研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理学専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学・企業法学	修士・博士後期	II期	2019年1月8日(火)~1月17日(木)	2月10日(日)	2月15日(金)
会計学	会計学	博士前期・博士後期				
人間生活科学	幼児保育学・栄養管理学	修士				

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。  
※法学研究科(修士・博士後期課程)、会計学研究科(博士前期・後期課程)、人間生活科学研究科では、II期試験(2月)も実施します。

■大学院入学相談会  
12月23日(日) 13:00~15:00 (名駅サテライトキャンパス)

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、111年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。  
趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額

控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方のご寄附については、確定申告時に税額控除と所得控除の2つの制度から、より所得税の減税効果が大きい制度を選択することが可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)  
TEL 052-853-0047(代表)

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください  
「名経大通信」Vol.58について、ご意見や感想などございましたら、入試広報部(右記連絡先)までお聞かせください。



# 名経祭 & わいわい犬山フェスティバル

10月13日(土)・14日(日)、第16回「名経祭」が開催されました。  
 キャンパスには元気な学生の声がかぎわたり、お祭りムード満載!!  
 附属幼稚園の年長組さんによる「ロック・ソーラン踊りと竹太鼓」を皮切りに、  
 ステージにはさまざまなパフォーマーが出演。オイシイ! たのしい! 模擬店もいっぱい  
 犬山キャンパスをさんぽしながらご紹介します。

天真乱漫  
**名経祭**  
 さんぽ



- 1 ベトナム留学生「ブンチャー・串焼き・揚げ春巻き」  
美味しさと笑顔で完売御礼!
- 2 長江ゼミ「まつりDEあそぼう」  
かぼちゃ&くりひろいに夢中!



- 3 甲冑試着体験「甲冑ファッションショー」
- 4 沖縄県人会「沖縄そば」  
インスタスポット



ベトナムの味を  
 元気いっぱいPR!



甲冑を身につけ  
 我は平成最後の  
 武将なり!



犬山市の  
 公式キャラクター  
 「わん丸君」も  
 応援に...



## 第15回「わいわい犬山フェスティバル」& 名鉄沿線ハイキング 第8回自転車散歩 in 犬山とコラボ

今年も名経祭と同時開催された「わいわい犬山フェスティバル(犬山市産業振興祭)」。シャトルバスを利用して多くの方にご参加いただきました。  
 また、13日(土)には「名鉄ハイキング」の立ち寄りポイントとして、14日(日)は「自転車散歩 in 犬山」のコースポイントに設定いただき、定番の焼きそばや焼き鳥、コーヒー、そして留学生が企画したアジアフードをお楽しみいただきました。



産業振興祭やハイキング、自転車散歩とのコラボで賑う模擬店



ソーラン! ヤーッ!!  
 かっこよく  
 決まりました



うわあ!?!  
 スーパーボール  
 どれにする?



名経祭  
 "ぎっずばれっど"へ  
 ようこそ!



- 5 光松ゼミ「つくってあそぼう」  
てづくりかすたねっと、上手にできた?
- 6 古市ゼミ「スーパーボールすくい」



- 7 NUEカンパニー「ガチャガチャ&駄菓子屋」
- 8 いちむら幼稚園・年長組「ロック・ソーラン」  
踊り & 竹太鼓



- 9 「ピンゴ大会」初ピンゴ!で栄養ドリンクをゲット
- 10 関谷ゼミ「おはなしのもり」
- 11 後夜祭 夜空を鮮やかに彩る感動の「ミュージックスターマイン」

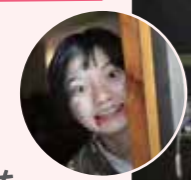


さあー  
 はじまるよ!  
 "おはなしのもり"



# 天真乱漫 名経祭 さんぽ Hot Interview!

名経祭実行委員会企画  
お化け屋敷



## Voice 1 模擬店 de 見つけた

### 手作りのガチャガチャ 子どもたちにも大評判!

ガチャガチャの設計図をネットで手に入れ、子どもたちの人気キャラをリサーチして仕入れた「駄菓子と景品」。手作り感が目を引き、子どもから大人まで多くの笑顔に触れ、学生生活最後の大学祭でまた一つ素敵な宝物を手に入れました。

●ガチャガチャ・駄菓子屋「NUEカンパニー」  
人間生活学部 教育保育学科4年 山本勝輝さん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



## Voice 2 模擬店 de 見つけた

### スポーツマンシップで結束 クラブのために何ができた?

大学祭で大好きな「軟式野球部」をもっと強くするぞ! という決意でクラブの活動費を稼ごうと部員が一致団結。味も売り上げもNO.1を目指し、こだわりが詰まったオリジナルからあげとフライドポテトの店を出しました。下ごしらえや接客は大変でしたが目標の売り上げも達成でき、充実した大学祭を経験できました。

●からあげ&フライドポテト「軟式野球部」  
人間生活学部 教育保育学科2年 石垣風海さん  
沖縄尚学高等学校(沖縄県)出身 (後列左端)



“軟式野球部”  
部員募集中!



“名経祭”は  
僕たち実行委員が  
支えています!

音響スタッフと入念な打ち合わせ

## Voice 3 “ステージ裏” de 見つけた

### 名経祭を陰で支えた 名経祭実行委員から!

提灯の絵付けや甲冑の試着など新たに「体験コーナー」を企画。特に管理栄養学科による「健康診断」には行列ができるほど好評でした。

模擬店、園児による「ロック・ソーラン」や学生バンドの競演、夜後祭の花火「ミュージックスター

メイン」まで、地域や企業の方々との連携により多くの参加者で賑わった「名経祭」。次の世代がさらに盛り上げていく欲しいと思います。

●名経祭実行委員会委員長  
人間生活学部 管理栄養学科2年 加藤響さん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

広報活動も積極的! 「楽田夏まつり」で名経祭をPR

## Voice 4 3号館の“きっずぱれっと” de 楽しそうな子どもたちの“笑顔”見つけた

### 絵本の世界観をゲームに“ももたろう”&“ぐりとぐら”

教育保育学科2年生は、てづくりおもちゃ、おやつづくり、絵本の読み聞かせなどの「あそびば」を企画。私たち多川ゼミは、「平成最後の「ももたろう」パーク」で「おにたいじ!」。加藤ゼミは、「ぐりとぐら」の世界を子どもたちが冒険する、絵本の世界を再現した体験型ゲームを企画しました。苦労もありましたが、「楽しかった!」「またきてもいい?」と、子どもたちを笑顔にできたことに喜びを感じました。

●平成最後の「ももたろう」パーク「多川ゼミ」  
人間生活学部 教育保育学科2年 米津英莉さん  
静岡県立静岡農業高等学校出身 (左上段写真)



なにをさがすの?



“宝箱”の中身は  
おにたいじの  
ごほうびだよ!

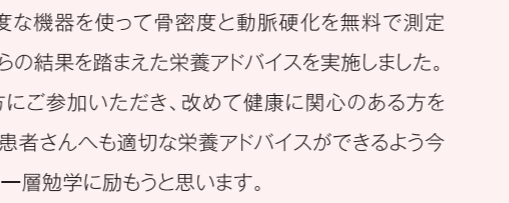
「ぐりとぐら」のカステラが  
できちゃった!

## Voice 5 大学祭で初開催! 動脈硬化検査・骨密度検査 「健康診断&栄養アドバイス」de 見つけた

### 1分でできる骨密度測定・5分でできる動脈硬化測定 de 健康チェック!

高精度な機器を使って骨密度と動脈硬化を無料で測定し、それらの結果を踏まえた栄養アドバイスを実施しました。多くの方にご参加いただき、改めて健康に関心のある方ははじめ、患者さんへも適切な栄養アドバイスができるよう今後もより一層勉強に励もうと思います。

人間生活学部 管理栄養学科3年 伊藤汐理さん  
香川県立坂出高等学校出身 (左端写真)



# OPEN Campus 2018 オープンキャンパス

## 「夏期保育」をプロデュース(附属市邨幼稚園)&「小学校社会科模擬授業」で学生たちの学びと成長を発表

夏のオープンキャンパスは、学生の活躍が光りました。7月22日(日)は、「どうなる? これからの日本の食料事情!—現状を把握し、未来を探り合おう」と題して、前原ゼミ3年生が小学校5年生社会科の模擬授業を行いました。そして、8月25日(土)は、キャンパス内にある附属市邨幼稚園にて、1・2年生の有志が保育実践を行いました。

参加者からは、「楽しかった」「子どもが可愛かった」など、さまざまな感想を聞くことができ、学生の姿から近い将来の自らの姿をイメージしてもらえたのではないかと感じています。(人間生活学部 教育保育学科准教授 関谷みのぶ)



▲夏期保育「飛ばしてあそぼう(紙皿フリスキー)」

社会科の授業を再現

## Voice 高校生にも楽しんでもらえる企画

5歳児だけでなく高校生の人も楽しめるような内容にしたいと思い、先生や友人と話し合い、練習を行いました。当日は少し緊張しましたが、みんながニコニコしていて、私もとても楽しく保育ができました。これからも子どもたちと関わることでできる機会を作り、現場での雰囲気を感じながら良い保育者になれるよう頑張りたいと思います。

人間生活学部 教育保育学科2年 石田和加奈さん  
愛知県立岡崎商業高等学校出身



## Voice 事前準備の大切さを痛感

今回、小学校社会科の模擬授業をさせていただき、大変良い経験となりました。また授業をするにあたり、教材研究や事前準備の大切さを改めて感じました。ゼミの仲間と共に授業内容や展開を考え、資料プリントやフラッシュカードを作成した上で授業に臨みました。この経験をもとに、今後も先の見通しをもち、児童自らが主体的に活動できるような授業づくりをめざしていきたいと思います。

人間生活学部 教育保育学科3年 早川舞華さん  
愛知県立尾北高等学校出身



## 学びを実践へ「いきいき栄養・健康サポートプロジェクト」で健康チェックと栄養指導+スペシャルランチ

臨床栄養学実習では、近隣市民の方々の授業への参加・ご協力を得ながら、①医学的な知識に基づいた信頼される食事指導の実践②栄養学的な知識に基づいた美味しい食事の提案、という管理栄養士にもっとも重要かつ必要なスキルを体験型授業で修得しています。

7月22日(日)のオープンキャンパスでは、日々の学びを実践へ繋げる「いきいき栄養・健康サポートプロジェクト」を開催しました。



ヘモグロビン濃度・血糖値の測定検査

また、管理栄養学科志望の高校生の皆さんに対しては脱メタボを目的に、カロリー、糖質、塩分を控え、筋肉を増強させる良質のたんぱく質が豊富な「美味しい和漢食」を提供。体の調子を整えるビタミン、ミネラル、食物繊維も多く、がんや動脈硬化を予防する抗酸化作用のあるニンニク、生姜、緑黄色野菜もたっぷり使った「スペシャルランチ」を味わっていただきました。

(人間生活学部 管理栄養学科准教授 早川麻理子)



管理栄養学科スペシャルランチ!

▲エネルギー量:491kcal  
たんぱく質:28.4g、糖質:48.8g  
脂質:13.4g、食塩:1.5g

「umami」をテーマに  
出汁と季節の素材を使った特製弁当  
鶏の塩焼き、揚げ煮ひたし  
冬瓜スープ、トマトごはん、マスカット

## Voice 学習成果をサポートプロジェクトで確認

授業で身につけた知識をもとにヘモグロビン濃度や血糖値、血圧などの測定と栄養相談を行いました。検査結果を見てアドバイスすることは難しく、一人ひとりへの確かな対応ができるよう、もっと勉強が必要なることを痛感しました。今後はこうした地域の方と接する貴重な体験を活かし、頼られる管理栄養士を目指して成長していきたいです。

人間生活学部 管理栄養学科3年 前田こはるさん  
岐阜県立東濃実業高等学校出身



名門ブリティッシュコロンビア大学付属の語学学校 ELI(English Language Institute)で3週間のカナダ研修

カナダの多文化共生社会の歴史と現状を学び、実践的な英語の運用能力を身につけることを目的とした3週間に及ぶ「カナダ研修」を実施。事前研修から、現地でのフィールドワーク、帰国後の報告会に至るまでを一つのプロジェクトとして行います。

最初の3日間は、バンクーバーの市邸学園セミナーハウスに滞在し、事前課題「UBCにはなぜ学食がないのか?」を調査研究、チームに分かれて報告会を行いました。4日目からは、ホームステイ先から各自がELIへ通学し習熟別度別クラスにおける趣向を凝らした2週間の研修で英語力を鍛えました。



UBC(The University of British Columbia)モニュメントの前で



学生たちの憩いの場「ネスト」でレポートを作成



UBCのランドマーク「Irving K. Barber Learning Centre」

Voice カナダ研修+エドモントンのマラソン大会で「3位」 「日本と海外における、マラソン文化の違い」をレポート

夏季休暇中の研修で日本人が97%!の現実に、少しがっかりしましたが現地の学生はもちろん国立大学の学生との交流は刺激的で、



3位入賞で表彰台! 左は記念のメダル

ELIでのクラスディスカッションや国営放送局の見学は、制作の裏側を見ることができる貴重な体験になりました。また、単独でロッキー山脈を超えエドモントンのマラソン大会に参加。3位の成績を残せ、さらにランナーやスタッフへのインタビューでレポートも完璧。これからも「考える前に、行動を起こす」フットワークの軽さで挑戦を続けたいと思います。

経済学部3年 大竹秀幸さん 滝高等学校(愛知県)出身



ELI前で記念撮影(前列左端)

1年間の健康と安全を願う犬山伝統の奇祭「石上げ祭」酷暑日の挑戦にも全員笑顔で登頂!

「石を尾張富士に担ぎ上げた者は、願いが叶う」という言い伝えがある尾張三大奇祭の一つ「石上げ祭」に、8月5日(日)、留学生を含む学生18名・教職員10名の計28名が参加。石をくりつけた担ぎ棒に笹を立て、尾張富士の山頂を目指しました。

酷暑日のため、熱中症対策をしながらの山登りでしたが、学生たちのかけ声は例年にもまして大きく、元気いっぱい! 国境を超えてお互いに励まし合い、協力し合うその姿はとても印象的でした。

登頂に成功した後は、1年間の健康と安全を祈願した「石」を拝殿前に奉納。参加者全員が最高の笑顔で記念写真に収まりました。



麓の「尾張富士大宮浅間神社」で祈願



「尾張富士」に無事登頂! 石を奉納して記念の1枚

“ウズベキスタン留学生”が発案 「豪雨緊急災害支援募金」で地域に広がる支援の輪

7月前半に起きた西日本豪雨の災害により、多くの方が被災され今なお不自由な生活を強いられています。この報道を受け、ウズベキスタン留学生の発案により、本学の学生有志が「豪雨緊急災害支援募金」を立ち上げました。多くの人の協力により集まった支援金は、ピースポート災害ボランティアセンターを通して西日本豪雨災害支援に使用されます。



皆さまの温かなご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。



手作りの募金箱を手に「豪雨緊急災害支援募金」への協力を呼びかける留学生たち

男子バスケットボール部



東海学生1部リーグ4位!

女子バスケットボール部



東海学生1部リーグ準優勝! インカレ初出場!! 第56回東海学生バスケットボール大会準優勝! 女子第67回西日本学生バスケットボール選手権大会 準優勝!

テニス部



東海リーグ参戦2年目! 男子5部リーグに昇格 女子4部リーグに昇格 東海学生テニス選手権(個人戦) シングルス・ダブルス ベスト4(3位)

ラグビー部



東海学生2部リーグ全勝優勝! 入替戦に勝利し 創部初の1部リーグ昇格!

男子サッカー部



東海学生1部リーグで活躍中!

女子サッカー部



愛知県1部リーグ前期 首位! 東海女子学生リーグ 3位

硬式野球部



愛知学生2部Bリーグ 6位

剣道部



女子団体 第41回東海女子学生剣道優勝大会 ベスト16 男子団体 第66回全日本学生剣道優勝大会 出場

新東通信 & 鈴木しづ子顕彰会とのコラボ

「犬山今昔マップ」の作成 & 「第1回大学生俳句選手権大会」を企画・運営

犬山城下町にゆかりのある俳人・鈴木しづ子の生誕100周年を祝う2つの企画に、本学の学生たちが挑戦しました。1つは、犬山城下町の今昔マップの作成です。経営学部の山下ゼミと大曾ゼミの1年生が、「俳人・鈴木しづ子が誕生してから100年間で犬山城下町がどう変わったのか」「犬山城下町で鈴木しづ子の俳句に合う情景はどこか」を起点に犬山城下町の

更なる魅力の発見を目指し、フィールドワークやお店へのヒアリングを実施しました。もう1つは、大学生俳句選手権大会です。インターンシップの一環として、経営学部と経済学部の学生が、俳句と演劇のコラボや俳句クイズなど、誰もが楽しめる企画を考え運営しました。

どの企画もたくさんの人にご支援いただき、学生たちは貴重な経験を積むことができました。（経営学部准教授 山下幸裕、大曾暢烈）



「第1回大学生俳句選手権大会」



学生たちが苦労して完成させた「犬山今昔マップ」

**Voice** 「第1回大学生俳句選手権大会」インターンシップでの貴重な経験

企画から運営までを手がけることができ、自分の意見を伝える難しさや、自分にはない他人の発想に耳を傾ける大切さを知る、貴重な経験になりました。これからこの大会と本学が長く関わっていくことを願っています。

経営学部2年 大倉真千子さん 愛知県立中村高等学校出身

**Voice** 好評だった俳句と演劇の融合

俳句を演劇で表現するという企画に、劇団としても参加でき、観客の方から「演劇があることで俳句の情景が浮かびやすくてよかった」という意見を多数いただきました。次回も俳句と演劇の融合というスタイルで大会を開催したいと思います。 経営学部2年 加藤繭子さん 愛知県立小牧南高等学校出身

**Voice** 「犬山今昔マップ」自分自身が成長できた、マップづくり

今回のゼミ活動では、人とのコミュニケーションの大切さを痛感しました。取材準備時に初対面の相手と話し、最初は戸惑いでしたが、勇気を持って話をすることで、協力的な仲間も増え、取材先でも貴重なお話をいただきました。私はこの経験を通じて成長できたと思います。

経営学部1年 桂山太一さん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



名経大グローバル人材プロジェクト 世界無形文化遺産「美濃和紙」を使ったものづくり体験&企業見学

9月19日(水)、「名経大グローバル人材プロジェクト」の一環で、留学生29名、教職員7名の合計36名が岐阜県的美濃市・関市・各務原市で「日本文化体験&企業見学」を行いました。ユネスコ無形文化遺産である美濃和紙を使った「ものづくり体験」では、留学生たちは担当者から手ほどきを受け個性豊かな作品を仕上げました。次に海外へ積極的な事業展開を行っているエーザイ株式会社の「内藤記念くすり博物館」とフェザー安全剃刀株式会社の「フェザーミュージアム」を訪問し、それぞれの会社概要・事業内容の



「ものづくり体験」石川紙業(体験ショップ)で記念撮影



説明を受けながら見学を行いました。優れた技術に触れる体験ができた留学生たちは目を輝かせ、積極的に質問を投げかけていました。

説明に熱心に耳を傾け質問をする(フェザーミュージアム)



思い思いの作品作りに真剣に取り組む

会場設営・本部スタッフ・名経大ブースで「楽田夏まつり」を盛り上げる

8月4日(土)、犬山市楽田地区で第22回「楽田夏まつり」が開催され、児童文化研究会「いろは」のメンバーがゲーム「コロコロバイキング」を出店しました。一人で立ち寄った子どもにはメンバーが対戦相手になるなど、優しい心遣いに子どもたちは笑顔を見せていました。また、経済学部学生研究室は、前日の設営から翌日の片付けまでの3日間にわたり本部スタッフとして活躍。名経祭実行委員会は、前日と当日のテント設営と10月13・14日(土・日)に開催される「名経祭」のPRに奮闘し、今年も地域のイベント「楽田夏まつり」を盛り上げました。



名経大ブース「コロコロバイキング」

3日連続で大活躍の学生たち

第5回こまき市民活動祭「ええがね!こまき」防災クイズと安全マップで防災意識向上に一役

経済学部学生研究室では、「防災クイズ・災害時のレシピ・小牧安全マップ」をこまき市民活動祭に出展。多くの方にクイズを解いていただき、災害時に役立つ知識を広めることができました。レシピを紹介した際は「ぜひ作ってみます」と参加者から声をかけられ、やり甲斐を感じました。また、マップで視覚的に交通事故発生場所を認識してもらうことができ、自分たちの企画が防災意識を高めるきっかけになればと思いました。

●経済学部学生研究室(地域政策チーム)  
経済学部3年 村瀬健太さん 岐阜県立各務原西高等学校出身



ケーブルテレビの取材で「クイズ解説&レシピ紹介」を紹介(左) たくさんの子どもたちがブースを訪れ防災クイズに挑戦!



「地域情報の見える化」とその活用法を解説

市公民館ゆうゆう学級 & 味岡ゆうゆう学級 健康料理教室「健康寿命を延ばすための食事」

小牧市の企画で「健康寿命を延ばすための食事」をテーマに講義と調理実習を行いました。近年、単に寿命を延ばすだけでなく、いかに健康に生活できる期間を延ばすかに関心が高まっています。平均寿命と健康寿命との差は、2016年において、男性8.84年、女性12.35年でした。この差を縮小するための1つの方策として、より良い腸内環境を維持することも大切で、それには食事が最も影響しています。本講座では、腸内細菌と高齢者に多い疾患との関係について学び、どのような食事が望ましいのか、理解を深めました。(人間生活科学部 管理栄養学科教授 相澤恵美子)



▲熱心に「講義」を聴講する参加者の皆さん

**Voice** 高齢者とゼミ生が楽しく学ぶ「健康料理」

小牧市の高齢者を対象とした健康料理教室「ゆうゆう学級」に参加しました。言葉づかいに気をつけながら調理に臨みましたが、参加者の皆さんから「説明もわかりやすくて、とても楽しかったわ」「おいしかった!」との声をいただき、楽しく一緒に調理できたことをとても嬉しく感じました。



今後も大学での学びを地域の皆さんへ伝える場に積極的に参加したいと思います。

人間生活科学部 管理栄養学科3年  
水野綾音さん(左)と松裏愛依さん(右)



8/22 市公民館ゆうゆう学級



8/23 味岡ゆうゆう学級



- 一健康寿命を延ばすための食事ー健康メニュー
- ・バラの飾り巻きずし
  - ・鮭のラクトゥイコ添え
  - ・とうがんとしらたきの煮物
  - ・お吸い物 ・甘酒プリン
- 総エネルギー(1人分) 819 kcal

小学校との連携による教職実践演習「小学校授業見学」  
現場体験から新たな気づきと成長を促す

小学校教諭を目指す学生たちが、11月7日(水)に犬山市立楽田小学校、14日(水)に小牧市立本庄小学校において、授業の様子を見学させていただきました。教育実習を終え、教えることの難しさや楽しさなどを体験し、学生たちの子どもたちを見る目も教師目線に変わりつつあります。各学年で普段行われている授業や子どもたちへの指導方法を見せていただいたこの体験は、教職実践のまとめとしてだけでなく、貴重な学びの場となりました。また、将来の職務に対する自覚や意欲につなげることができたとします。(人間生活科学部 教育保育学科特任教授 日比野博)



実習を終え学生から「お礼の挨拶」



3年生図工の授業(楽田小学校)



6年生算数の授業(本庄小学校)

連携小学校  
● 犬山市立楽田小学校 ● 小牧市立本庄小学校

Voice 教職実践演習「小学校授業見学」  
素晴らしい授業を見せていただきました

今回の授業見学は教育実習とは違い、さまざまな学年やクラスの授業を見学させていただきました。先生方の学年それぞれに適した生徒への声の掛け方や伝え方が素晴らしく、どのように教えたら良いかを考えて授業を進めていく姿が勉強になりました。改めて教師という職業の大変さとやりがいを感じました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 馬原佑果さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



Voice あつまれいぬやまっこ!  
子どもたちから「ありがとう」の声

スライム作りとボウリングを行いました。行列ができた時も、みんな協力して、スムーズに案内することができました。

また、遊び終わった子どもから「ありがとう」の声があがり、何度も遊びに来てくれる子もいて、とても嬉しかったです。今回学んだことを就職後も活かしていきたいです。

人間生活科学部 教育保育学科4年 福岡美穂さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



第20回あつまれいぬやまっこ! うきうき大行進  
スライム作りとボウリングに笑顔と歓声

成年・ワンワンワンワンの日(11月11日)に「あつまれいぬやまっこ!」は開催されました。このイベントは、地域の子どもに関わる各団体や犬山市が連携して、子どもたちの健全育成のために行われているものです。教育保育学科も4年生が遊びのコーナーを設けました。遊びに来る子どもたちの気持ちに寄り添いながら、笑顔で声掛けをする様子は、さすが4年生と思えるものでした。また、ボランティアで関わる学生の姿も見られました。(人間生活科学部 教育保育学科准教授 関谷みのぶ)



「ボウリングとスライムあそび」みんな笑顔で大盛況!



魔法の液体を勢いよくまぜると・・・?!

「作って 学ぼうー かんたん! 朝食づくり」  
バランスを考えた朝食づくりを体験

朝食を摂ることは基本的な生活習慣を身につける観点からも重要なことです。そこで、子どもたちに栄養バランスのとれた朝食の大切さを伝え、簡単にできる朝食づくりを体験してもらおうと、8月28日(火)楽田小学校で犬山市内の小学生24名を対象に食育講座を開催しました。管理栄養学科の学生から朝食に関するクイズや栄養の話聞いた後、子どもたちは卵焼きやレタス・ハムなど好きな食材を選び、サンドウィッチづくりを楽しみました。学生たちにとっても充実感を感じる良い体験になりました。

(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)



◀なごやかな雰囲気の中、児童と一緒に「サンドウィッチづくり」

「小牧ジュニアセミナー」子どもたちとさまざまな表現を楽しもう

2018年7月8日(日)、名古屋経済大学が担当する「表現を楽しもう」の第1回として、多川ゼミ3年生がファシリテーターとなり、フィンガーペインティング(手や指に直接絵の具をつけて楽しむ)を行いました。最初は恐る恐る描いていた子どもたちも、だんだん大胆になり、指先を使ったり、指全体で描いたり、手形をつけたり、いろいろな発想で表現することを楽しんでくれたようでした。(人間生活科学部 教育保育学科教授 多川則子)

小牧ジュニアセミナー(味岡市民センター・創作室)  
7月 8日(日) ● フィンガーペインティング  
10月28日(日)・1月26日(土) ● ピクトグラムを知る  
12月15日(土)・22日(土) ● ハンドベル



自由な発想で「フィンガーペインティング」に挑戦

Voice ジュニアセミナー  
子どもたちの大胆な発想に驚く

子どもたちが夏をテーマにグループで一つの作品をつくる時、私たちでは思いつかないような斬新なアイデアがいっぱい出てきて驚きました。私自身、刺激を受けることが多く、何より子どもたちと活動することがとても楽しかったので、また機会があればぜひ参加したいと思いました。

人間生活科学部 教育保育学科3年 吉田琴音さん  
愛知県立犬山南高校出身



こまキッズフェスタ2018  
今年も「わくわく広場 in 名経大」を出店

11月10日(土)、保育者を目指す4年生のうち17名が参加。当日は開始とともに順番を待つ列ができ、大勢の子どもたちで賑わいました。子どもの年齢に応じた声のかけ方、穏やかな表情で関わる様子、遊びを盛り上げようと一生懸命拍手や声援を送る学生たちの姿から、成長や頼もしさを感じることができました。この経験や学びを社会に出てからも生かして欲しいと願っています。(人間生活科学部 教育保育学科特任教授 長江美津子)



のび～る「スライム」できた!



Voice こまキッズフェスタ  
これまでの学びと経験が活かされた

準備段階で当日までに間に合うか不安もありましたが、みんなの協力で無事に終わることができました。保育実習は昨年までに終え、子どもと関わる機会はずいぶん多かったのですが、子どもの目線になり笑顔で話を聞き、保護者とのコミュニケーションも心がけ、これまでの勉強や経験を活かすことができました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 藤原杏実さん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



スライム&わなげゲームで賑わう「わくわく広場 in 名経大」

就活 Report 就職内定者報告

就職内定 地方公務員

限られた時間の中で頑張る

大学に入る前から公務員を志望していた私は、保育士資格・幼稚園教諭・小学校教諭の3つの免許取得※を目指しています。大学1年から公務員講座の授業を受け、苦手だった数学も試験を受ける頃にはわかるようになりました。保育士の試験では専門科目もあるので自分でテキストを買い、毎日少しずつ勉強しました。

私が所属している女子サッカー部は週に6日練習がありますが、部活がない日はピアノを習っていました。限られた時間の中での勉強はとても大変でしたが、周りの応援もあり、頑張ることができました。

●犬山市役所(保育職)  
人間生活科学部 教育保育学科4年 田中まこさん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

※2019年度入学生より免許資格の取得パターンを選択する新カリキュラムとなります。



就職内定 地方公務員

「保育士になる」夢がかなった

「幼稚園の先生になりたい」というのが小さい頃からの夢でした。入学後は、保育士資格・幼稚園教諭・小学校教諭の3つの資格取得※のために4年間勉強し、さまざまなボランティアに参加してきました。最初は幼稚園教諭希望でしたが、いろいろな施設で経験を重ねるうちに「保育士として働きたい」という思いが強くなりました。その後、ゼミの先生が親身になって相談に乗ってくださったおかげで一宮市役所の試験に合格することができました。今後は保育士として子どもの成長を支えると共に、自分自身も成長できるよう頑張りたいです。

●一宮市役所(保育職)  
人間生活科学部 教育保育学科4年 石川奈津美さん  
愛知県立岡崎高等学校出身



就職内定 金融・保険

早くから準備を行ったことが自信に

私は、3年の12月に開催された業界セミナーとキャリア支援講座の受講から本格的に就職活動を始めました。最初は何をしたらいいのかわからなかったため、キャリアセンターに通い、やるべきことのアドバイスを受け、何度も履歴書(ES)の添削をしていただきました。その結果、4年になってからは個別説明会や就職試験に集中できる体制が整いました。また、積極的にキャリアセンターを活用し比較的早くから準備を行ったことで企業研究や業界研究に時間を割くことができ、業界や進路を明確に絞ることができ、納得のいく就職活動を行うことができました。

●**関信用金庫**  
経済学部4年 吉本一貴さん  
関市立関商工高等学校出身



就職内定 不動産

自分の軸を1つしっかり持つことが大切

住宅、不動産業界を志望していた私は、宅地建物取引士の資格を取得して就職活動に臨みました。就職活動を始める前は、志望していた大手企業から内定をいただけるのか不安に思う時期もありましたが、選考を受けた企業からはすべて合格または内々定をいただくことができました。

就職活動を終えて、「早くから行動することが自分に有利に働くこと」「事前準備を怠らず自分の考えを整理すること」「自分の大切な軸を1つしっかり持つこと」が何より重要だと感じました。今は協力していただいた方々にもとても感謝しています。

●**積和不動産中部株式会社**  
経営学部4年 鬼頭健さん  
愛知県立豊明高等学校出身



就職内定 建設

積極的に行動すれば結果はついてくる

私は就職活動を始める前に、「社会人としての基礎を固めたい」という思いがあり、資格取得やインターンシップなどに積極的に取り組みました。最初はどの就職活動を進めればいいのかわからなかったのですが、キャリアセンターのサポートのおかげで自分が希望する企業から内定をいただくことができました。就職活動で学んだことは、「不安とうまく付き合いながら積極的に行動すれば結果は後からついてくる」ということです。この経験をもとに今後不安を抱えることがあったとしても積極的に行動を起こし、社会人として活躍していこうと思います。

●**大和ハウス工業株式会社**  
法学部4年 安江裕也さん  
岐阜県立武義高等学校出身



就職内定 金融・保険

将来のために、悔いのない就職活動を!

私はまず、自分がどんな会社に入り、将来どんなことをしたいのかについて考え、会社選びの軸を作りました。そして、その軸がぶれないことを意識しながらさまざまな会社を見ていくことから始め、金融関係の仕事に就きたいと思うようになりました。最終的に三重銀行を選んだ理由は、自分のことをよく見てくれて必要とされていると感じたからです。それは、働いていく上でのモチベーションに繋がると確信しました。

皆さんにも「やりたいことの軸」をしっかり持って会社選びをし、納得がいくまで就職活動をして欲しいと思います。

●**三重銀行**  
経済学部4年 辻拓真さん  
三重高等学校(三重県)出身



就職内定 金融・保険

早めの行動を心がけました

私は金融業界で働きたいと考えていましたが、人気のある業界なので、早めに行動することを心がけました。3年の夏からはインターンシップや業界セミナーに参加し、企業分析はもちろん風通しの良さを見て、就職先の選択肢を決めていきました。また、スケジュール管理が大切だと考え、常に手帳を持ち歩くことで予定を把握し、いつ連絡が入ってもすぐに返事ができるようにしました。その結果、選考も早く進みました。今回の就職活動で物事に対するスピードの大切さを感じることができ、社会人になった時にも役立てたいと思いました。

●**岡三証券株式会社**  
経営学部4年 清水亮太郎さん  
愛知県立大府高等学校出身



就職内定 地方公務員

警察官になる夢に向かって

私は、中学の頃から警察官になるという夢を持ち続けてきました。そのため、1年の時から公務員基礎力養成の授業を取り、知識を蓄えてきました。3年の春休みには公務員講座を受け、試験対策をしてきました。また、愛知県警の主催するインターンシップや説明会に積極的に参加し、自分が警察官になった時の姿を強くイメージし、モチベーションを上げていきました。その結果、筆記・面接ともに自分の納得いく結果を出すことができ、無事、合格することができました。春からは、警察官として恥ずかしくない行動ができるよう、努力していきたいと思っています。

●**愛知県警察本部**  
法学部4年 新川正弥さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



就職内定 サービス

ありのままの自分で臨んだ面接

私は管理栄養士の勉強をしていく中で、食と運動との繋がりに興味を持ちました。「大学生生活やアルバイトで積み上げてきた知識を誰かに伝えたい。誰かを笑顔にしたい」という強い思いを抱きながらさまざまな企業を調べ、「ここで働きたい!」と思う企業に出会えました。そして、先生方やキャリアセンターの方に履歴書の添削やアドバイスを受け、無事内定をいただくことができました。面接では笑顔を忘れずに、ありのままの自分で臨むことが大切だと感じました。今後も目標を高く持ち、日々努力することを忘れずに、多くのお客様を笑顔にしていきたいと思っています。

●**株式会社ボディーズ(女性専用フィットネススタジオ)**  
人間生活科学部 管理栄養学科4年 伊藤帆乃夏さん  
静岡県立静岡農業高等学校出身



インターンシップ 卸売・小売

自信につながったインターンシップ

私が参加した「MINI多治見」は、MINIの「日本一」ディーラーに2年連続で選出されている素晴らしいディーラーです。洗練された素敵な空間作り、社員全員の数字に対する意識など、とても活気のある職場でした。今回のインターンシップを通じて、社会の厳しさやお金を稼ぐことの大変さ、働くことのやりがいなどを学ぶことができました。こうした経験は、就職活動や社会に出た時に自信に繋がると思います。やりたいことを見つけ、さらに自信をつけるため、今後も積極的にインターンシップに参加したいと思います。

●**MINI多治見(株式会社エイムコーポレーション)**  
経営学部2年 林利紗さん  
岐阜県立土岐紅陵高等学校出身



インターンシップ サービス

多くのことを学んだ10日間

小牧商工会議所でインターンシップに参加させていただきました。挨拶の仕方や名刺の渡し方や受け取り方などの基本的な社会人マナーを学び、課題研修では、取得したMOS PowerPointの知識を生かしプレゼン時の資料作成を他大学の学生と協力して行いました。商工会議所の仕事は自分が思っていたイメージとは違い、市役所をはじめとする多くの事業所と協力することが重要なのだとわかりました。今後、市を発展させるために商工会議所はどのような役割を担い、何を果たすべきなのかなど、多くのことを学びました。

●**小牧商工会議所**  
経済学部2年 大川飛祐さん  
愛知県立春日井東高等学校出身



就職内定 卸売・小売

キャリアセンターのサポートに感謝

就職活動を始めるにあたり、最初は「自分の強みを活かせる、やりたい仕事」を見つけることができませんでした。そこで、キャリアセンターに相談したところ、親身に話を聞いてくださり、アドバイスをいただいたおかげで、自分では気づけなかった得意なこと、長所や短所を見つけることができ、前向きに就職活動に臨むことができました。自分の好きなものに関わることのできる会社から内定をいただくことができ、働くことが今からとても楽しみです。

先生方への感謝の気持ちを忘れず、成長した姿を見てもらえるよう、自分らしく人生を歩んでいきたいと思っています。

●**株式会社西利(京つけもの)**  
人間生活科学部 管理栄養学科4年 深澤茜さん  
東邦高等学校(愛知県)出身



インターンシップ 製造

仕事に対する責任の重さを学びました

日本の社会をまったく知らない私にとって、今回のインターンシップで最も大きな学びになったのは「仕事に対する責任の重さ」でした。「ニーズに合わせた売れる商品作り」「会社の利益」「お客様第一」を考えながら行動をすることの大切さや、事業の進め方や取り組みなど、社員の方と近い距離感で学びながら幅広い知識を身につけることができました。

また、経営者と会社の経営手法といった論理的な話や商品の海外展開の話など、さまざまな視点から貴重な話を聞くことができ、とても充実した5日間になりました。

●**株式会社白鳩**  
法学部2年 ダブラトフ・ハサンさん  
ウズベキスタン出身



インターンシップ 製造

とても貴重な経験ができました

インターンシップに参加する前は、不安に思うことがたくさんありましたが、社員の皆さんが親切に指導してくださり、とても貴重な経験になりました。部品の材質作りや表面の作図業務など細かい作業は難しいと感じましたが、実習体験を通じ、モノづくりにどんな視点が必要なのかを学ぶことができました。今後は、社会人として何を求められているのかを考え、常識やマナーを大切にしていきたいと思っています。また、インターンシップで学んだことを今後の大学生活や将来に活かしたいと思っています。

●**湯浅糸道工業株式会社**  
経営学部2年 グエン・ティトウェット・タインさん  
ベトナム出身



幼稚園教諭・教育実習

子ども一人ひとりの成長を見守りたい

幼稚園実習で4歳児クラスを2週間担当しました。最初はあまり心を開いていなかった子どもたちが実習を進めるにつれて段々と心を開くようになり、毎日手紙をくれたり、「先生大好き！遊ぼう！」と言ってくれるようになり、嬉しかったです。また、子どもたちを見て一人ひとり成長の速度が違うこと、子どもにあった接し方があることを学びました。これは、大学の授業の中では体感できないことです。

幼稚園実習を経て、「先生になりたい」という気持ちがさらに強くなりました。今回の実習で学んだことを次の実習に繋げていきたいと思っています。

**【国風第三幼稚園(名古屋市西区)】**  
人間生活科学部 教育保育学科2年 森美月さん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



保育士・施設実習

障がいを持った方への理解を深める

障がい者支援施設では、障がいを持った方との接し方のイメージができず、不安に思っていました。実習が始まると、食事介助や洗面介助、入浴介助など初めての経験ばかりでどうしていいかわからず、戸惑い、悩むことがよくありました。また、同じ障がいを持っていてもできることや好きなことが一人ひとり異なり、同じ関わり方をすれば良いわけではなく、利用者に合わせた関わり方を見つけるのが難しかったです。

しかし、実習でさまざまな経験をする中で、障がいを持った方への理解を深めることができました。

**【障がい者支援施設 夢の家(春日井市)】**  
人間生活科学部 教育保育学科3年 森彩子さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



栄養教諭・教育実習

子どもたちの学びを手助けするために

栄養教諭の教育実習は5日間と短いので、子どもたちとたくさん触れ合うことを目標にしました。授業準備の合間を縫ってチーム・ティーチングとして授業に参加したり、休み時間に一緒に遊んだり、積極的に子どもたちの輪に入ることで、たくさん触れ合うことができました。

実際に授業を行って感じたことは、「授業は子どもたちの発言から作られていく」ということです。授業とは、教師が教えるだけではなく、子どもたちが自ら考えたことから学ぶのだと思いました。この実習を通して、子どもたちの学びの手助けをするのが私たちの役割だと感じました。

**【小牧市立陶(すえ)小学校(小牧市)】**  
人間生活科学部 管理栄養学科4年 黒澤砂代さん  
同朋高等学校(愛知県)出身



保育所実習

保育所実習を体験して

私は実習で、4歳児を担当しました。保育園では見守る保育を大切にしており、子どもたちが主体的に活動できる保育を展開し、自主性や意欲を育てていました。子どもの活動を考える時は、子どもにとって少し難しい課題を設定することが達成感や楽しさにつながることを知りました。そしてそのためには、日常の子どもたちの姿をしっかりと把握することが必要だと学びました。

短い実習期間でしたが、遊びを通して、子どもたちと信頼関係を築くことができ、今回の実習で学んだことを活かしてさらに勉学に励み、子どもたちの先生になりたいと思います。

**【亀の井保育園(名古屋市名東区)】**  
人間生活科学部 教育保育学科3年 松築里佳さん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



小学校教諭・教育実習

自分の将来のこととして「実習」を考える

私は小学校での教育実習で自らの志の低さを思い知らされました。教育実習を簡単に考えていたわけではありませんが、実際の学校現場は楽しいことばかりでなく想像していたよりも何倍もハードでした。子どもたちと過ごす時間に加え、日々の教材研究や授業準備、資料の整理など、毎日が戦いです。その時私は「これが実際の学校現場であり、私は将来この世界で生きていくことになるのだ」と考えました。

今後は教員としてのやりがいだけでなく、苦勞を知った上で、自らの将来を考え、歩んでいきたいと思っています。

**【名古屋市立矢田小学校(名古屋市東区)】**  
人間生活科学部 教育保育学科4年 山本勝輝さん  
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



病院・臨地実習

臨地実習Ⅱ(臨床栄養)を郷里にて

夏休みの8月後半に帰郷し、同郷の同級生と2人で2週間の臨地実習を修了しました。実習先の病院では栄養食事指導を学ぶとともに、栄養サポートチームのカンファレンス・ラウンド、治療食の調理など実践的な体験をさせていただくことができました。糖尿病腎症、透析などに関する事前課題も大変でしたが、多くの準備をして臨んだ結果、スムーズな実習になりました。一方、授業で学んだ以外の気づきも多く、今後さらに学習を積み、将来医療現場に立てるようになりたいと思いました。

実家からの臨地実習でしたが、両親ならびに実習先の先生方に感謝しています。

**【JA静岡厚生連 遠州病院(浜松市)】**  
人間生活科学部 管理栄養学科3年 中村風香さん  
静岡県立浜松湖東高等学校出身



第38回消費者問題研究所公開講演会

「3Kトラブル」から消費者を守ろう ―架空請求・仮想通貨・健康食品など―

7月7日(土)、本学名駅サテライトキャンパス10階ホールにて、消費者問題研究所主催による公開講演会が開催されました。

利用した覚えのないサイト利用料などを請求される「架空請求」、決済手段や投資対象として注目される「仮想通貨」、やせたい願望などをかなえるとする「健康食品」のトラブルが急増しています。今回の公開講演会は、「3Kトラブル」から消費者を守ろうをテーマに、講師として、宗林さおり氏(国民生活センター理事)、加納克利氏(消費者庁参事官)、杉浦英樹氏(弁護士)、清水かほる氏(全国消費生活相談員協会中部支部長)をお招きし、「最近の消費者トラブルの動向」、「消費者を守るための法律・制度の展開」、「悪質事業者から消費者を守る」、「相談現場で消費者に寄り添う」とのタイトルで、ご講演いただきました。講演後は「3Kトラブル」から身を守る方策などをテーマにパネルディスカッションも行われ、公開講演会は盛況のうちに終了しました。



▲パネルディスカッション



◀杉浦英樹氏による講演  
「悪質事業者から消費者を守る」

「宝交通株式会社」との産学連携による「プロジェクト型学習」  
タクシー業界の発展に向けた「共同調査・研究」がスタート

経営学部3年生の大曾ゼミ・山下ゼミでは、宝交通株式会社の支援をいただき、産学連携によるプロジェクト型学習をスタートさせました。



笠原 代表取締役社長からのお話

10月26日(金)、初回のキックオフミーティングでは、プロジェクト型学習を通じて学ぶべきポイントを把握したうえで、代表取締役社長の笠原氏、常務取締役の小林氏をはじめ関係者の方々から、宝交通株式会社

のグループの紹介やタクシー業界の現状や宝タクシーの取り組みについてご説明いただき、企業の抱える課題の共有を図りました。

今後は、ゼミナールを通して、学生(若者)の視点から、宝交通株式会社が抱える課題の解決に向けたアイデア提案に取り組んで参ります。(経営学部准教授 大曾暢烈、山下幸裕)



小林 常務取締役からのお話

大韓民国国会 & 韓国法フォーラムで報告

法学部水島准教授が、7月12日(木)に韓国国会で行われた国際会議において「日本における市民の立法参与」について、また同月21日(土)に中国吉林省延辺朝鮮族自治州延吉市の延辺大学で行



韓国国会での国際会議(水島准教授:右から4番目)  
写真提供:キム・ドンギル国会法制官補

われた「第5回韓国法フォーラム」において「韓国におけるわいせつと表現の自由」の問題についてそれぞれ韓国語で報告を行いました。東アジアの国々では国家が有害と判断するサイトを遮断する傾向がありますが、特定の道徳的価値を国家が強要することや、国民の通信の秘密の観点から望ましいのかどうか現地の先生方と議論してきました。

法学部1年 合同ゼミナールで  
主権者教育セミナーを開催

9月28日(金)1限、法学部では1年生全体合同ゼミにおいて、愛知県選挙管理委員会のご協力により、「日本の選挙制度と選挙を巡る最近の状況」というテーマで、主権者教育セミナーを開催いたしました。選挙権を行使できる年齢が18歳に引き下げられたため、大学1年生から選挙に参加することができるようになりました。将来の日本の方向性を決めていくのは、皆さん一人ひとりの手にかかっているということを感じておいてほしいと思います。(法学部准教授 水島玲央)



講演者 服部誠氏



身近な選挙制度の話に熱心に耳を傾ける1年生